



2025 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社焼肉坂井ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 高 橋 仁 志
(東証スタンダード市場・コード番号 2694)
問合せ先 取締役管理本部長 山 下 淳
(TEL. 052 - 910 - 1729)

通期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2025年2月14日に公表いたしました、2025年3月期通期（2024年4月1日～2025年3月31日）の連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期通期連結業績予想と実績値との差異（2024年4月1日～2025年3月31日）

（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 （ A ）	百万円 22,927	百万円 574	百万円 582	百万円 343	円 銭 1.46
実 績 値 （ B ）	23,533	468	428	△613	△2.61
増 減 額 （ B - A ）	606	△105	△153	△956	
増 減 率 （ % ）	2.6	△18.4	△26.3	—	
（ご参考）前期実績 （2024年3月期）	22,817	529	606	235	1.00

2. 差異の理由

当連結会計年度におきましては、主力事業である焼肉事業や、日常食・ファーストフード事業をはじめとする他の各事業において、人流の増加やインバウンド需要に加えて、特に居酒屋業態において首都圏を中心として12月の宴会需要と3月の歓送迎会の需要が増加したことや、日常食・ファーストフード事業において「おむらいす亭」と「あげてんや」を合わせて7店舗の出店を行ったこと等もあり、売上は堅調に推移いたしました。

しかしながら、人件費や原材料価格、水光熱費等のコストの更なる高騰が利益に与える影響は、複数社及び複数産地からの購買や調達先・原産地の変更、商品変更等の施策による対応可能な範囲を超えており、焼肉事業及び日常食・ファーストフード事業の各業態と居酒屋業態において、昨年10月から昨年12月にかけて商品価格の見直しを含むメニューの改定を実施いたしましたが、メニュー改定以

前の利益減を回収するまでには至らず、営業利益及び経常利益は前回予想を下回る結果となりました。また、食品加工事業を廃止したこと等による事業撤退損の計上及び減損損失の計上等により、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても前回予想を下回り、売上高235億33百万円、営業利益4億68百万円、経常利益4億28百万円、親会社株主に帰属する当期純損失6億13百万円の実績となりました。

以上